

現代の中東

第34号

2003年1月

目次

巻頭言 アフガニスタンの苦悩……………後藤 晃	
<hr/>	
エジプトにおける「近代統計」と国民国家形成……………加藤 博	2
エジプトの農業開発政策と農業生産の推移……………土屋 一樹	19
1940年代エジプトにおける資本と雇用の 「エジプト化」議論……………池田美佐子	42
アフガニスタン近現代史—史的展開と現状—……………鈴木 均	64
イランにおける書籍流通に関する一考察 —再販制をめぐる議論を中心に—……………岩崎 葉子	81
<hr/>	
〈データ紹介〉	
イラン・イスラーム共和国と“地方史・誌”の出版状況……………八尾師 誠	97
<hr/>	
資料紹介……………	114

編集後記

- 米国のイラク攻撃が迫っている。だが日本の報道はどこかしら対岸の火事という立場で、米国の居丈高な姿勢がいつか和らいでくれるのを心待ちにしている風情にも見える。果たしてこれで良いのだろうか。

これまで平和を享受してきた日本が中東地域の平和的安定に向けて発信できることは何か、私たち一人一人が考えていかなければならないだろう。ひとたび戦端が開かれれば、何万人というイラク国民が犠牲になることだけは疑いないのだから。

(鈴木)

- 昨年12月にフランス系スーパーマーケット・チェーンのカルフルがカイロにオープンしたそうです。その2年前には日本1号店がここ幕張に開店して、スーパー業界にも本格的に外資の進出が始まったと随分話題になりました。カイロでも外国資本のスーパーマーケットが成功できるかどうか話題になっているようです。というのも、その1年ほど前にイギリス系のセインズベリーが撤退したばかりだからでしょう。もっともエジプトでスーパーマーケットをチェーン展開していたのは2社だけであり、流通システムの確立なども今後の課題になるのではないかと思います。ちなみに、中東におけるカルフルの運営はUAEの企業が行っているそうです。

(土屋)

現代の中東 No.34

2003年1月15日発行© 定価1365円
(本体1300円)

編集・発行 日本貿易振興会アジア経済研究所
編 集 地域研究第2部
発 行 研究支援部

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545
電話043-299-9735 FAX043-299-9736

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興会あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。